



世界遺産登録に向け 7月に推薦書原案を提出

「宗像・沖ノ島と関連遺産群」は、平成21年1月にユネスコ世界遺産暫定リストに記載されました。それから5年、宗像市は、福岡県、福津市と共に国内外の専門家を交え、資産価値の証明や遺産を守るための緩衝地帯の設定について、研究・議論を重ねてきました。そして、いよいよ今年の7月、文化庁に世界遺産登録のための推薦書原案を提出します。

問い合わせ先 世界遺産登録推進室 ☎(62) 2617



世界遺産には、文化遺産、自然遺産とその両方を兼ね備える複合遺産の3種類があり、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」は文化遺産での登録を目指しています。平成24年から、1つの国がユネスコ世界遺産センターに提出できる文化遺産の推薦書原案を提出した遺産の中から推薦遺産を決定する予定です。今年、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の推薦が決定された場合、平成



岩上祭祀遺跡

沖ノ島では、4世紀後半、島の巨岩の上を祭場とした国家的な祭祀(さいし)が行われていたと見られています。

世界遺産としての価値

27年に、世界遺産センターが依頼したイコモス(国際記念物遺跡会議)が現地調査に訪れ、平成28年の世界遺産委員会で登録の可否が決定します。



日本最古の歴史書「日本書紀」

古代、日本が国家を成立させ、国家として成熟させた技術や文化が必要不可欠でした。このため、日本と大陸との海を行き来しなければならなかった。このために、大陸の優れた技術や文化が必要不可欠でした。このため、日本と大陸との海を行き来しなければならなかった。このために、大陸の優れた技術や文化が必要不可欠でした。

古事記・日本書紀が語る宗像の重要性

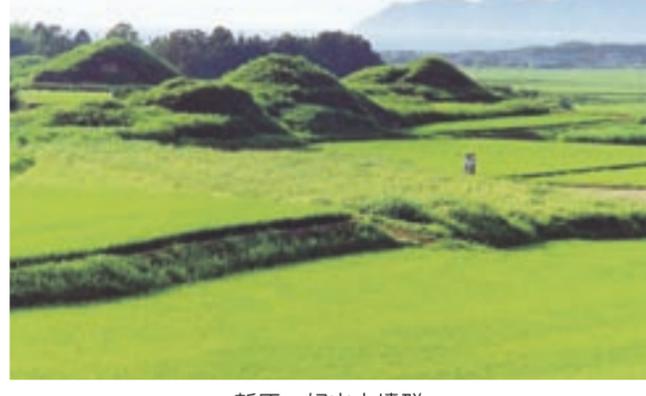
沖ノ島で始まった自然信仰から日本固有の信仰への移り変わりが確認できる場所は、世界にたった一つ、ここ宗像しかありません。



神宿る島「沖ノ島」



三女神をまつる宗像大社(辺津宮)



新原・奴山古墳群

構成資産の紹介

書かれています。沖ノ島で出土した神へ捧げられた宝物が、一級品ばかりであったことから重要性が伝わってきます。

【宗像大社】

沖津宮、中津宮、辺津宮からなる宗像三女神をまつる神社で、古代から現代までの祭祀の発展を伝える重要な信仰の場です。

【新原・奴山古墳群】
航海技術にたけた宗像氏は、大陸と日本との水先案内を務め、沖ノ島の祭祀も担いました。海を望む台地に築かれた古墳群は、この海域を支配した一族の象徴です。

宗像シティボウル / 宗像バッティングセンター

福岡ソフトバンクホークス公認

ホークスが勝った翌日は
通常バッティング1ゲーム25球が**30球**に!

みんなでホークスを応援しよう!
宗像バッティングセンターは福岡ソフトバンクホークスを応援しています!

小さいお子様でも楽しめます

ボールのスピードはお子様向けにゆっくりな45km/hからあります

お子様用の軽くて短いバットもご用意しています

TEL 0940-36-6833

所在地 宗像市王丸徳丸772

ポウリング 10:00～深夜5:00迄 (日・祝のみ9:00から)

バッティング 10:00～深夜0:00迄 (日・祝のみ9:00から)

家族・友人と楽しめる
イベント盛りだくさん!
詳しくはホームページをご覧ください。